

産業廃棄物の排出及び処理状況等(平成19年度実績)について



環境省は平成22年1月12日、平成19年度の産業廃棄物の排出及び処理状況等について調査結果を公表しました。

19年度の全国の産業廃棄物の総排出量は約4億1,900万トンで、18年度に比べ、約100万トン(約0.2%)の増加となりました。

業種別排出量では18年度と同様、電気・ガス・熱供給・水道業(総排出量中22.8%)、農業(同20.9%)、建設業(同18.4%)、鉄鋼業(同9.1%)、パルプ・紙・紙加工品製造業(同8.5%)、化学工業(同4.2%)の上位6業種で総排出量の約8割を占める結果となり、廃棄物の種類別排出量も18年度同様、汚泥(44.2%)、動物のふん尿(20.9%)、がれき類(14.5%)の上位3品目だけで総排出量の約8割に達しています。

尚、再生利用量は約2億1,881万トン(18年度約2億1,477万トン)と増加していますが、減量化量が約1億8,047万トン(同約1億8,193万トン)とわずかに減少し、最終処分量は18年度の約2,180万トンより約166万トン少ない約2,014万トンにとどまりました。

当社では、産業廃棄物の分析を行っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

資料 2010年1月12日付 環境省HP

土壌環境箇所 明石康伸